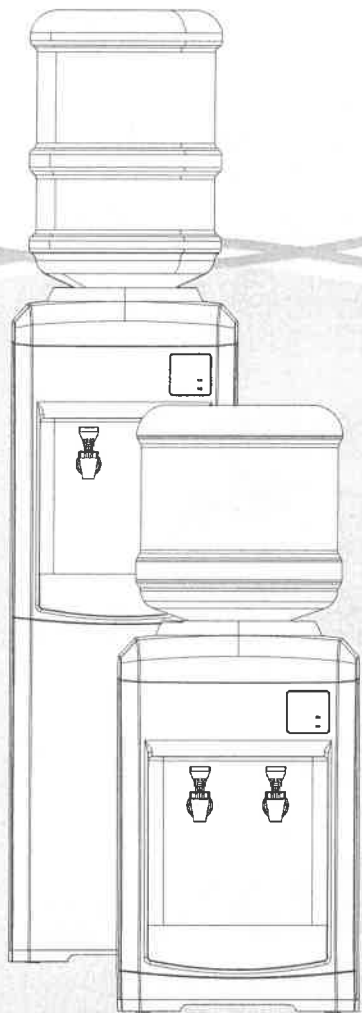




ウォーターディスペンサー (床置型) 取扱い説明書 FHC-6000 FCC-6000 (卓上型) MHC-6000 MCC-6000



- 安全上の注意事項 1
- 各部の名称と仕様 2,3
- 設置方法 4
- ご使用にあたり 5
- お手入れ方法 6
- 故障かな?と思った時は 7
- 修理とアフターサービス 7

この「取扱い説明書」は設置前に必ずお読みになり、大切に保管してください。

60300008-6000-VER.02

1. 安全上の注意事項

設置、ご使用になる前に、この注意事項をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここでは誤った取扱いをした時に起こりうる死亡や重症の重大事故につながる可能性がある内容を示しています。これらの警告・注意事項は安全上重要な内容ですので必ずお守りください。

- 警告**：誤った取扱いをした時に死亡や重症につながる可能性が大きいもの
- 注意**：誤った取扱いをした時に人が障害を負う可能性が大きいもの

■ 設置上の注意事項

- 警告**
 - 水平で丈夫な所に設置してください。転倒、落下による事故や怪我、感電、火災、やけどの恐れがあります。
 - 電源はAC100Vで定格15A以上の専用コンセントを使用してください。延長コードの使用やタコ足配線は火災の恐れがあります。
 - 電源コードを傷つけたり、引っ張ったり、ねじったり、上に重いものを乗せたり加工、加熱しないでください。火災、感電の恐れがあります。
 - アース線は安全の為、必ず最初に接続してください。アース線が接続されておらず、万一漏電した場合、火災、感電の恐れがあります。
- 注意**
 - 屋外や湿気の多い場所、換気の悪い場所、周囲温度が氷点下になる所、直射日光が当たる場所や発熱物のそばには設置しないでください。ディスペンサーの寿命を短くし、安全を損なう恐れがあります。
 - 電源プラグには埃が付着していないか確認し、コンセントにプラグの根元まで確実に差し込んでください。埃が付着したり、接続が不完全な場合は感電、火災の恐れがあります。
 - 可燃性ガスの漏れの恐れがある場所や、シンナー等の揮発性の高い溶剤等を近くで使用しないでください。爆発や火災の恐れがあります。
 - 設置後、ディスペンサーの内部やドレインコックからの水漏れがないか確認してください。わずかな水漏れがある場合でも使用を中止、販売店にご連絡ください。

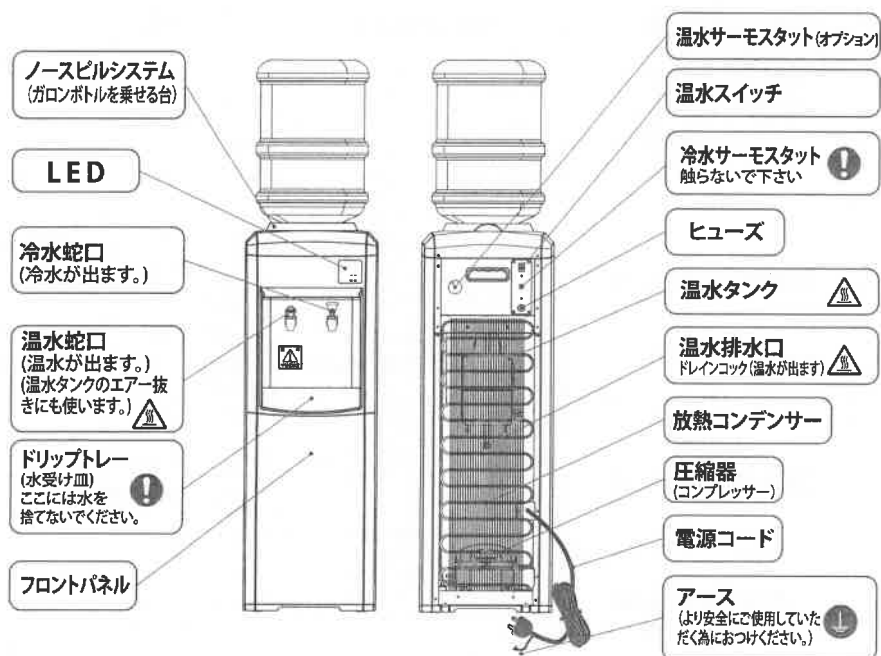
■ 使用上の注意事項

- 警告**
 - 電源プラグに濡れた手で触れると感電する事があります。また、電源コードを持ってプラグを引く抜かないでください。感電したり断線やショートによる火災の恐れがあります。
 - 背面の放熱部から棒や指を入れないでください。高温の温水タンクでやけどしたり、感電の恐れがあります。
 - 修理技術者以外は絶対に分解したり修理を行わないでください。不備があると感電や漏水の恐れがあります。不当な改造や修理による故障、事故については保障ができません。
 - 焦げ臭い等の異常がある場合は、すぐ運転を停止し、電気プラグを抜いてお買い上げの販売店、又は代理店へご連絡ください。異常のまま運転を続けていると故障や感電、火災の恐れがあります。
 - 冷水タンクの内部やノースピルシステムの内側に触れる時は除菌した手袋などをご使用ください。汚れた手で触れると雑菌が繁殖することがあります。
- 注意**
 - このディスペンサーは3ガロンまたは、5ガロンボトル等の規格サイズ専用ですのでそれ以外には使用しないでください。トラブルの原因となります。
 - 電源プラグは抜いたままにしないでください。抜いたまま放置しますと水質が変化し不味な臭い、味の原因となります。
 - 長期間(2週間以上)使用しない場合はボトルを外してディスペンサー内の水を抜き、電源プラグもコンセントから抜いてください。水質変化と絶縁体劣化による感電や漏電の原因となります。
 - 温水を出す時は、手にかけたりしてやけどをしないよう十分注意してください。安全のため、子供だけで使用させないでください。
 - ディスペンサー背面のコンデンサーや電気回路部、また電源コンセントなどの埃を定期的に取除いてください。

1

2. 各部の名称と仕様

■ 各部の名称



■ 仕様

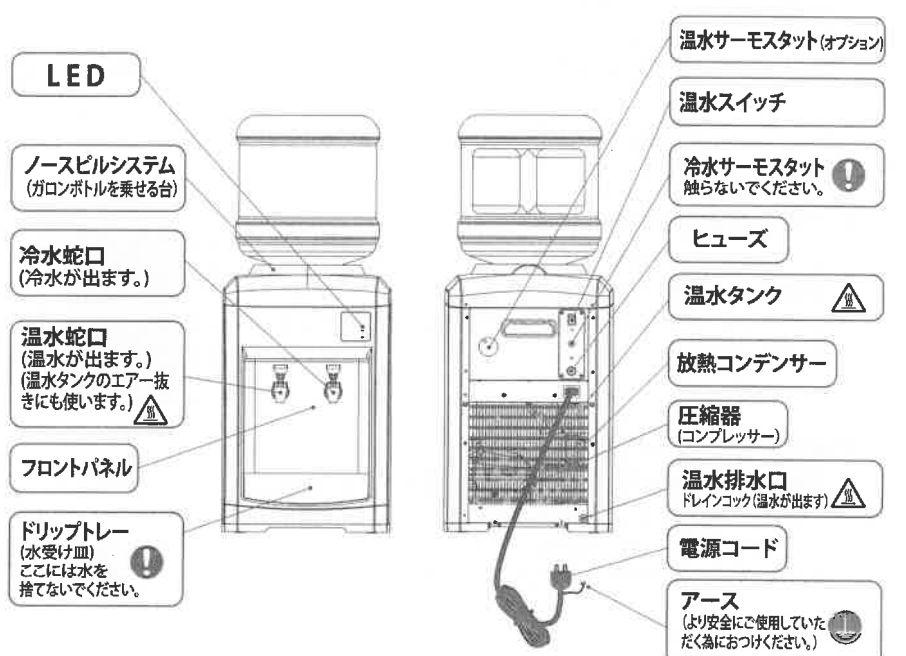
名 称	温水・冷水ウォーターディスペンサー	冷水・常温ウォーターディスペンサー
型 式	床置型 FHC-6000	床置型 FCC-6000
サイズ(mm)	320(W) x 320(D) x 945(H)	320(W) x 320(D) x 945(H)
重 量	18kg	17.5kg
電 源	単相 100V 50/60Hz	単相 100V 50/60Hz
消費電力	加熱 400W 冷却 100W	冷却 100W
冷水	連続抽出能力	約 1.4ℓ
	温 度	5℃ ~ 12℃
	タンク容量	約 3.4ℓ (ステンレスタンク)
温水	連続抽出能力	約 1.4ℓ
	温 度	BI-METAL, 温水サーモスタット(オプション) 80℃ ~ 90℃ 室温 ~ 90℃ 調節可能
	タンク容量	約 1.92ℓ (ステンレスタンク)

* 仕様は製品改良にともない予告なく変更することがあります。
製造元: OVIO CORPORATION

2

2. 各部の名称と仕様

■ 各部の名称



■ 仕様

名 称	温水・冷水ウォーターディスペンサー	冷水・常温ウォーターディスペンサー
型 式	卓上型 MHC-6000	卓上型 MCC-6000
サイズ(mm)	320(W) x 320(D) x 515(H)	320(W) x 320(D) x 515(H)
重 量	15kg	14.5kg
電 源	単相 100V 50/60Hz	単相 100V 50/60Hz
消費電力	加熱 400W 冷却 100W	冷却 100W
冷水	連続抽出能力	約 1.4ℓ
	温 度	5℃ ~ 12℃
	タンク容量	約 3.4ℓ (ステンレスタンク)
温水	連続抽出能力	約 1.4ℓ
	温 度	BI-METAL, 温水サーモスタット(オプション) 80℃ ~ 90℃ 室温 ~ 90℃ 調節可能
	タンク容量	約 1.6ℓ (ステンレスタンク)

* 仕様は製品改良にともない予告なく変更することがあります。
製造元: OVIO CORPORATION

3

3.設置方法

1. ディスペンサーを設置します

ディスペンサーを箱より出してください。中袋をはずしコンセントのある場所にセットしてください。

注意

- まだコンセントにつなげないでください。
- 平らで安定した場所に壁などから15cm以上離して設置してください。
- 設置後の本体の移動は電源を切ってから1時間以上経過後に行ってください。また、移動時は本体を45度以上傾けないでください。
- アースは万一の感電事故を防ぐために必ず最初に接続してください。
- 温水排水口がきっちりと閉まっているか念のため確認してください。
- 屋外や直射日光の当たる場所には絶対に設置しないでください。

2. ボトルの準備

ボトルのシュリンクカバー(キャップの周りのビニールカバー)を外し上部のキャップシールを剥がしてください。
* ボトルに付いているプラスチックキャップは絶対に取らないでください。



3. ノースピルシステムにセットします

ノースピルシステムの中央部のパイプへボトルを逆さまにして手早くしっかり差し込みます。タンク内に水が入ると、同時にタンク内の空気がボトル内に上昇します。冷水タンク内が満水になると空気の上昇もなくなります。



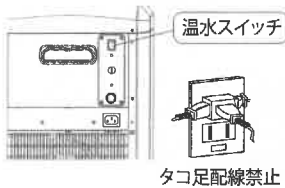
4. 温水タンク内のエア抜き(空気抜き)をします

ボトルをセットしたら、すぐ下図のように温水蛇口(ロック解除しながら)を下に押し続け、温水タンク内のエア抜きを行ってください。約3分程で温水蛇口より、水が出ます。
水が出ましたらエア抜きは完了です。



5. 電源プラグをコンセントに差し込み、温水スイッチを入れます。

電源プラグをコンセントに差し込み、背面にある温水スイッチをONにします。(温水サーモスタットがあるオプション仕様の場合は背面にあるダイヤルを回して温度を設定してください。) 冷水スイッチはありませんが、この時点で自動的に冷却も開始されます。(コンプレッサーの始動及び若干の振動が発生します。)



注意

コンセントのタコ足配線は発熱し、火災の恐れがありますので単独で使用してください。

※温水を使用しない場合でも、温水スイッチはONにしておいてください。

設置終了後、30分～40分で温水及び冷水が使用可能になります。

※温水タンクの空炊きを防ぐ為にボトルの水が空になったら自動的に温水が止まる仕組みになっております。その場合は、できるだけ早くボトルを交換してください。
長期間交換しないと不快な臭い、味の原因となります。

6. 設置後の確認

ボトル付近、コック付近、タンク部及びディスペンサー裏面より水漏れがないかチェックしてください。 万一水漏れがあった場合は「6. 故障かな?」と思った時は、ご購入の販売店、または代理店に連絡してください。

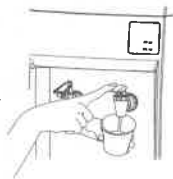
- 本体に適合した3ガロン、または5ガロンボトル等をご使用ください。
- 水道水などに詰め替えてご使用になると配管や蛇口が詰まるなど故障や臭いの原因となりますのでおやめください。
- 温水を出す時は手にかけたりして火傷をしないよう十分注意してください。

4

4. ご使用にあたり

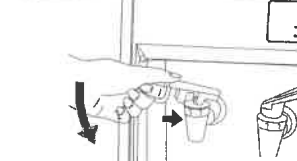
■ 冷水レバー(青い色)、温水レバー(赤い色)

青いレバーを押すと冷水、赤いレバーを下に押すと温水がでます。お湯または水が跳ねることがありますのでコップは手に持って蛇口の真下で操作してください。温水は特に注意して、蛇口の近くまでコップを持って行ってください。ボトルが空になってもタンクに水があれば冷水は出ますが、温水はボトル内の水の圧力でお湯を出しますので水がなくなればお湯は出なくなります。
(温水タンク内の空炊き防止装置作用の為)



チャイルドロック式レバーのご使用方法

TYPE 1



人指しゆびでレバー下部を押し込みながらレバー全体を下げると温水が出ます。

TYPE 2



人指しゆびと親指でレバーを挟みながらレバー全体を下げると温水が出ます。



注意

温水を出す時は手にかけたりして火傷をしないよう十分注意してください。安全のため、温水レバーにチャイルドロック式を採用している仕様の製品の場合でもお子様だけの使用はさせないでください。

■ 冷水、温水の温度について

- 冷水温度(設定温度: 5°C~12°C)
冷水温度は冷水サーモスタットの調整により設定変更できますが適温に設定してありますので再調整する必要はありません。通常は手を触れないでください。
- 温水温度(80°C~90°C)
温水温度は適温に設定してありますので、再調整する必要はありません。
- 温水温度(室温~90°C 調節可能) 温水サーモスタット(オプション)
温水温度は温水サーモスタットの調整により設定変更できます。

■ 長期間使用しない場合

長期間使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜いてタンクの水抜きを行ってください。電源プラグを抜いた状態で長期間放置しますとタンク内の水質の変化や劣化が生じます。ボトルをディスペンサーから外し、冷水タンクと温水タンク内の水を必ず抜いてください。水抜きについては、「5. お手入れ方法」をご参照ください。

■ ボトルの交換方法

ボトルを外す時は、必ず真上に引き上げてください。止水用のキャップが、ボトルを引き抜くことにより自動的に閉まりますのでボトル内に水が残っていても水は漏れません。



注意

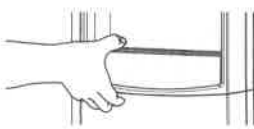
- ゆっくりボトルを引き抜くとキャップが閉まらないことがあります。
ボトル内に水が残っている場合は、漏れ出す事がありますのでご注意ください。
- 新しいボトルに交換した時に止水用のキャップがまれに抜けボトル内に浮かぶ可能性があります。使用には差し支えありませんが、この場合ボトルに水が残っている状態でボトルを抜くと水が漏れますので絶対にボトルを抜かないでください。
- 構造上わずかですが、水がボトル内に残りますので、ご了承ください。

5

5. お手入れ方法

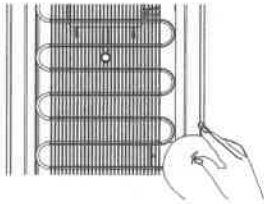
■ 外装/ドリフトレーのお手入れ

外装: やわらかい布に中性洗剤を含ませ拭いてください。汚れが落ちたら水拭きし、その後再度乾拭きしてください。
ドリフトレー: 外して中性洗剤で洗ってください。



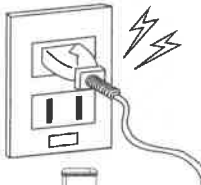
■ 放熱部のお手入れ

ディスペンサーの背面は放熱部となっております。壁に密着させたり埃が付着すると放熱し難くなり冷却効果が低下します。やわらかいブラシ、掃除機等で定期的に掃除してください。



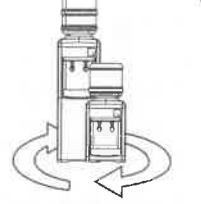
■ 電気コード/プラグの点検

電源コードやプラグに亀裂がないか、またコードが発熱していたり重いものの下敷きになっていないか点検してください。これらは、感電事故や火災の原因になりますので、普段の使用時からこまめに点検してください。



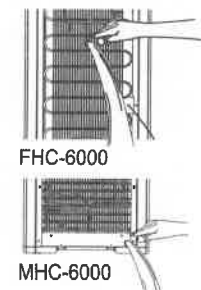
■ 水漏れの点検

ボトルがノースピルシステムに十分に差し込まれていない場合やドレインコックの締りが不完全ですと水漏れを起こします。定期的にディスペンサーの位置をずらし背面や底部に水が漏れていないか点検してください。



■ タンクの水抜き

水抜きをする場合、冷水は冷水レバーを押して蛇口から抜いてください。温水は裏側にある温水排水口にあるキャップを外して抜いてください。



注意

温水を抜く場合、必ず電源を抜いてから1時間以上経過後に(温水が冷めてから)抜いてください。熱湯が出てやけどの原因になります。

6

6. 故障かな?と思った時は

ディスペンサーの調子が悪くなった時は、修理の依頼前に次のことをお調べください。

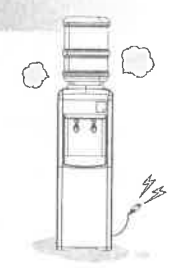
こんなとき	調べるところ	処置の仕方
水が出ないとき (冷水・温水)	ボトルが空になっていませんか。	空炊き防止も含めて、新しいボトルのものに交換してください。
	温水タンクのエア抜きが不完全になっていませんか。	温水レバーを押し下げ、蛇口から水が出るまでレバーを押し下してください。
冷水が出ないとき	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグを点検してください。
	停電またはブレーカーが切れていませんか。	ご自宅・オフィス等の電気の配電盤を点検してください。
	冷水の出過ぎ又は冷却時間が短すぎませんか。	一度に大量に出さないようにするが時間を置いて使用してください。
	設置場所の温度が高くなりませんか。	直接日光の当たらない風通しの良い場所に設置してください。
	背面の放熱部に埃が詰まっていますか。	背面放熱部を清掃してください。
	ディスペンサーの背面が壁に近く設置されていませんか。	背面を壁より15cm以上離して、背面放熱部からの熱が逃げるように設置してください。
温水が出ないとき	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグを点検してください。
	停電またはブレーカーが切れていませんか。	ご自宅・オフィス等の電気の配電盤を点検してください。
	温水スイッチが入っていますか。	背面の温水スイッチをONに入れてください。
水が漏れている (ディスペンサー)	温水の出過ぎ又は加熱時間が短すぎませんか。	一度に大量に出さないようにするが時間を置いて使用してください。
	温水排水口から水が漏れていませんか。	温水排水口のキャップをしっかり閉めてください。
	冷水蛇口又は温水から水が漏れていませんか。	蛇口が緩んでいる場合がありますので、右に廻して締めてください。
水が漏れている (ボトル付近)	タンクに水滴がついていませんか。	その場合は涼しい場所にディスペンサーを設置してください。
	タンクから水が漏れていませんか。	ボトルを抜き、水を排出してください。(販売・代理店にご連絡ください。)
	ボトルがノースピルシステムに不完全に差し込まれていませんか。	ボトルをきっちり最後まで差し込んでください。
騒音(ノイズ)がする	ボトルが割れていませんか。	ボトルを新しいものに交換してください。
	機械本体が傾いていませんか。	機械本体を水平に保ってください。
	壁や他の製品に触れていませんか。	機械本体を壁や他の製品から離してください。

修理とアフターサービス

電源プラグを抜いてご購入の販売店、又は代理店にご連絡ください。

修理を依頼される時は次の事項をお知らせください

- (1) お名前(会社名)及びご住所 (2) 担当者さまへのご連絡先
- (3) 不具合内容の詳細



7